

The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 参加報告書

相関基礎科学系修士課程 2 年 清野 紗央里 (内田研究室)

「修士・博士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受け、The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies(PACIFICHEM 2015)に参加してきました。この国際会議はアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市で 5 年に一度開催されるもので、日本、アメリカ、カナダ、ニュージーランド、オーストラリア、韓国、中国の 7 化学会が主催しています。開催期間は平成 27 年 12 月 15 日～平成 27 年 12 月 20 日までの 6 日間でした。PACIFICHEM 2015 では 18000 件を超える発表が行われ、ハワイコンベンションセンターに加えヒルトンワイキキビレッジなど複数のホテルで様々なシンポジウムが開催されました。私はその中でもポリオキソメタレート(ポリ酸)に関するセッションに参加しました。

私は最終日に「Selective uptake of Cs⁺ by porous ionic crystals based on redox of polyoxometalates」というタイトルで口頭発表を行いました。発表内容は、ポリ酸とクロム錯体を組み合わせた多孔性材料を用いて、土壌や海水の汚染が問題となっている Cs⁺ に対し選択的吸着を行うというものです。会場には様々な国からポリ酸の研究を行っている教授の方々がいらしており、非常に緊張しながらの発表となりましたが、皆さん優しく発表を聞いてくださり、質問をいくつもしてくださいました。今回の発表を通じて、理解が不十分な所や足りない所を沢山見つけることができ、非常に良い経験となりました。この経験を今後の実験や修士論文の執筆に活かしていきたいと思います。

